

公民館で

一宮公民館子どもプレイランドの会では、月曜から金曜の午後3時から5時まで、土曜の午前10時から午後4時まで、一宮公民館を会場に放課後の子どもの居場所づくりをしています。子どもたちは、気が向いたときに公民館に来て、スタッフである地域の人が見守る中、室内テニスやゲーム、卓球など、ときには外の公園で元気に遊んでいます。「子どもにとっては大勢で群れて遊ぶことも大切。ここで自由に遊んでほしいです。子どもだけでなく大人にも関心を持ってもらえたら」とスタッフの響尾千佳子さん（東一宮）。



今の子どもたちは、少人数でしか遊べなかったりゲーム漬けになってしまいがちで、本当の遊びの楽しさを知らないかもしれません。ここでは子どもたちが毎日、公民館に集まって元気に遊んでいます。

PTAで

東小学校では、毎年PTAが中心となって地域の人たちを交えて「東小まつり」と「ふれあい広場」を開催しています。

「東小まつり」では、学校・保護者・児童がいっしょになってステージや模擬店などを開き、地域の人にも楽しんでもらっています。近くの高校からもステージ発表や会場案内などいろいろな形で参加してもらい、とても活気のあるイベントです。「ふれあい広場」では、地域の人たちにもものづくりの先生になってもらい、編み物や手打ちうどん、アロマキャンドルなどを子どもたちに教えてもらっています。いろいろな体験が足りないといわれる今の子どもたちですが、ここでは先生となった地域の人たちと交流しながら多くのことを吸収しています。



地域のおじさん、おばさんになって！

何かの団体に属していなくても、忙しくて時間がなくても、特に技術を持っていなくても、子どもたちのために誰にでもできることがあります。それは地域のおじさん、おばさんになることです。今の子どもたちは、ごく近所の大人でも顔や名前を知りません。日ごろからのあいさつで、地域の子もたちと顔見知りになっておきましょう。



私たちの生活は豊かになっているはずなのに、子どもを取り巻く環境は、昔に比べて厳しいものになっています。こうした中、学校や地域で子どものために行われている取り組みやそれに携わる人々の思いを紹介しました。大人はだれでも地域の子もたちを見守る人になれます。子どもたちのために、地域の果たす役割は大きく、今後ますます重要になってくるでしょう。

地域での取り組み

子どもたちは地域の宝。たくさんの人とふれあって様々な体験をして、たくましく健やかに育ってほしい。そうした願いのもとに、市内では「津山っ子を守り育てる会」をはじめ、町内会など様々な場面で取り組みが行われています。



「子どもたちが健全に育っていくには、人と人とのふれあい、地域の中の温かい交流が大切」と、子どもたちの育つ環境を豊かなものにするために、津山口・井口健全育成会では、毎年、とんどやふれあい

グラウンドゴルフ大会を開催しています。どちらの行事も約100人の参加があり、昨年秋のグラウンドゴルフ大会では、3歳から

93歳まで幅広い年代の多くの人でにぎわいました。日ごろから子どもたちに声かけをする取り組みも行っていますが、このような行事でさらに交流が深まっています。大勢の人が集まる地域行事を通して、子どもは地域の人たちと交流しながら、地域での助け合いや思いやりを感じて育ってほしいです。（「津山口・井口健全育成会」会長 森元好枝さん・井口

健全育成会で



森元好枝さん・井口

子ども会で



地域の子どもたちがいっしょに遊んで、その中で学年の上の子は小さい子を見てあげる、小さい子はお兄さんお姉さんの言うことを聞く。昔はよく見られた風景ですが、今はなかなか見られません。子ども会では様々な活動をしています。子どもたちにはその活動の中で学年を越えた縦のつながりも深めてほしいと思っています。また、このごろは近所に住んでいてもどの家の子かわからないことも珍しくありません。町内では、子どもたちのためにいろんな企画をしてくれています。こうした活動に参加することで、地域の人と知り合いになって交流してほしいです。（「日の出子ども会」会長 高橋美紀子さん・高野山西）

老人クラブで

山北緑ヶ丘老人クラブ「緑寿会」では、子どもたちの健全育成の手助けになればと、あいさつ運動や昔遊び教室、農作業体験などに取り組んでいます。

また放課後、子どもたちが安心して過ごせるように、子どもの下校時に合わせて散歩したり、集会所を開けて下校後の子どもたちの遊びを見守ったりしています。ときにはこちらから小学校に行き、グラウンドゴルフなどを子どもたちとすることも。子どもたちには地域の多くの人と顔見知りになって、その中で健やかに育ってほしいと願っています。（「緑寿会」会長 水野久寿也さん・山北）

